

Safe Care for all

ノーリフトケア® 国際シンポジウム

2025

10/3^{FRI}~4^{SAT}

日本ノーリフト協会設立以来の15年の歩みを振り返るとともに、各国からのシンポジスト、講演者を招き、医療・介護におけるテクノロジーの活用と腰痛予防対策を中心とした労働安全衛生マネジメントについて、学び、ともに有意義な時間を過ごしたいと考えております。

【国際シンポジウム】

2025年10月3日(金)13:30~17:00

2025年10月4日(土) 9:00~15:30

※受付は30分前より開始いたします。

神戸国際会議場

兵庫県神戸市中央区港島中町6丁目9-1

【15周年記念式典】

2025年10月3日(金)18:00~20:00

※受付は30分前より開始いたします。

神戸ポートピアホテル

兵庫県神戸市中央区港島中町6丁目10-1

医療・介護における
テクノロジーの活用について考える

基調講演

『コミュニケーションテクノロジー
の力で、ALSの未来を明るく
変える挑戦』

(一社)WITH ALS 代表理事
武藤 将胤

2013年に難病ALSを発症、2014年に宣告を受ける。ALSになったことをキッカケに一般社団法人WITH ALSを2016年に立ち上げ。エンターテインメント、テクノロジー、介護の3領域で課題解決に取り組んでいる。



WITH ALS
ホームページ

シンポジウム

『医療・介護における
テクノロジーの活用と腰痛予防対策』



厚生労働省
Ministry of Health, Labour and Welfare



経済産業省
Ministry of Economy, Trade and Industry

【大会長】

溝田弘美

【コメンテーター】

武藤将胤

(一社)WITH ALS 代表理事

司会進行 | (一社)日本ノーリフト協会

特別顧問
埴田和史

代表理事
保田淳子

※その他のプログラムは裏面にてご案内させていただきます。

主催 | 一般社団法人日本ノーリフト協会

大会長

(一社)日本ノーリフト協会 理事、(社福)弘陵福祉会 (特養)六甲の館 理事/施設長
溝田弘美

後援 (予定)

厚生労働省 経済産業省 神戸市 在大阪オーストラリア総領事館 神戸商工会議所 神戸市介護サービス協会
(公社)日本看護協会 (公社)日本理学療法士協会 (一社)日本作業療法士協会 (公社)日本介護福祉士会
(公財)テクノエイド協会 (一社)日本福祉用具・生活支援用具協会 (公社)関西シルバーサービス協会
アジア太平洋トレードセンター(株) (一社)兵庫県社会福祉士会 (一社)兵庫県介護支援専門員協会
(一社)ナチュラルハートフルケアネットワーク

特別
協賛

川崎重工業株式会社

協賛

シーホネンス株式会社

株式会社いすら 株式会社エレクトロスイスジャパン ノーリツプレジジョン株式会社

マッスル株式会社 アルケア株式会社 株式会社情報システムエンジニアリング

株式会社シリウス 株式会社CoreHealth 株式会社ジェイテクト

株式会社バイオシルバー

参加登録

【キャンセル規定】

社会情勢や講師／主催者側の都合により、開催延期もしくは、中止となる場合がございます。但し、お申込者様都合でのキャンセルにつきましては、お申込み後の返金等はいたしかねます。

早期プレミアムチケット(税込)

先着300名限定
7月31日まで

国際シンポジウム(2日間参加)
+
15周年記念式典

会員 → ￥25,000 → ￥20,000

非会員 → ￥29,000 → ￥25,000

申込みはこちら↓



通常チケット(税込)

国際シンポジウム
(2日間参加)

15周年
記念式典

会員 → ￥8,000

非会員 → ￥12,000

￥17,000

申込みはこちら↓



※記念式典に参加されない場合は、通常価格にてお申込下さい。

プログラム

※プログラム内容、時間は変更となる場合がございます。ご了承ください。

2025年10月3日(金)

- 1日目 -

会場 メインホール@国際会議場

13:30 開会式

基調講演

『コミュニケーションテクノロジーの力で、ALSの未来を明るく変える挑戦』
武藤 将胤氏(一般社団法人WITH ALS 代表理事)

シンポジウム

『医療・介護におけるテクノロジーの活用と腰痛予防対策』
厚生労働省 / 経済産業省 / 満田 弘美氏(大会長) / 武藤 将胤氏(コメンテーター)

特別講演

『医療・介護に関わるすべての人をケアする社会の実現に向けて』
～社長直轄プロジェクト立ち上げ、現在、そして未来へ～
橋本 康彦氏(川崎重工業株式会社 代表取締役社長執行役員) /
保田 淳子氏(一般社団法人日本ノーリフト協会 代表理事)

17:00

会場移動

会場 偕楽(本館 B1F)@神戸ポートピアホテル

18:00 15周年記念式典

20:00

2025年10月4日(土)

- 2日目 -

会場 メインホール@国際会議場

09:15 参加者交流会
『日本におけるノーリフトケアマネジメント』 0

10:15 オーストラリア 1-1
『オーストラリアの介護テクノロジー(仮)』
シンガポール
『ノーリフトケア導入のための看護ケアの再設計』
台湾
招待講演

12:00 ランチセミナー*
日本 1-2
川崎重工業株式会社
シンガポール
『ヘルスケアにおけるロボティクス利用』
日本
『利用者が望む介護の実現に向けて』
■(社)大翔会

13:15 韓国 1-3
『ノーリフトケア普及における現状と課題』
オーストラリア
『ノーリフトトレーニング/入居者管理システム』

14:15 まとめ 1-4
『NLA介護設計ガイドライン策定委員会からの実施報告』
■議長 黒田 聡氏
『協会活動のこれから』
■(一社)日本ノーリフト協会 理事

15:15 閉会式

15:30

401@国際会議場

韓国 2-1
『ノーリフト制度の運営成果と課題』
日本
『～未来に向けて進もう～』
■(特養)りんごの丘
『(特養)若葉苑に於けるNLC普及啓発活動の10年の歩み』
■(社)若山会 (特養)若葉苑

2-2
『ICTやノーリフトを運用した介護負担軽減への効果～高齢者虐待や身体拘束の未然防止のいま～』
■(社)楽々タイプライツ福祉会 (特養)あさみの里
『心身の安寧を意識した取り組み～「生かされている」から「生きていく」へ～』
■(医)新生十全会 京都東山老年サナトリウム
台湾
招待講演

2-3
日本
『ノーリフトケア 導入5年目の課題』
■(医)社團創生会 カネディアンル(老健)
『トイレでの天井走行リフトの自立支援効果』
■(特養)六甲の館

*お弁当配布あり。

特設ページ



プログラムの最新情報は、
特設ページをご参照ください。

会場

国際シンポジウム | 神戸国際会議場
兵庫県神戸市中央区港島中町6丁目9-1

15周年記念式典 | 神戸ポートピアホテル
兵庫県神戸市中央区港島中町6丁目10-1

ノーリフトケア® コーディネーター養成講座オンラインベーシック

受付中

ノーリフトケア®を病院や施設で実践するため、2025年度も4回(6・8・10・12月)に渡り、講座を開催いたします。
修了者には「修了証」を発行いたします。プログラムの詳細・お申込みにつきましては、下記協会HPよりご確認ください。

お問合せはこちら | (一社)日本ノーリフト協会事務局

✉ noliftcare@gmail.com

☎ 078-862-8503

📍 〒652-0897 神戸市兵庫区駅南通5丁目1-2 健康ライフプラザ5階

■ 平日10:00～17:00以外の時間帯でのお問い合わせの場合は、メールにてご連絡下さい。

■ 「ノーリフト®」「ノーリフトケア®」は日本ノーリフト協会の登録商標です。

■ 本会に関する個人情報につきましては、一般社団法人日本ノーリフト協会が保管します。

公式ホームページ



日本ノーリフト協会

Safe Care for all

ノーリフトケア®2025国際シンポジウム

早期プレミアムチケット申込用紙

早期プレミアムチケット(税込)

国際シンポジウム(2日間参加) +
15周年記念式典

会員

¥25,000 ➡ **¥20,000**

非会員

¥29,000 ➡ **¥25,000**

お申込みは
こちら↓



【申込方法】QRコードを読み取り、お申込みフォームにご入力ください。

【申込期限】2025年7月31日（木）まで

【お問合せ】

一般社団法人日本ノーリフト協会事務局

神戸市兵庫区駅南通5丁目1-2健康ライフプラザ5階

TEL : 078-862-8503 FAX : 078-862-8508

E-mail : noliftcare@gmail.com

〈医療・介護における腰痛関連課題調査 2025 実施のお知らせ〉

医療・介護現場における腰痛の実態および腰痛予防対策に関する調査・研究

2025 年 8 月から 9 月 実施予定 10 月 4 日 国際シンポジウムにて速報報告

神戸市兵庫区駅南通 5 丁目 1-2 健康ライフプラザ 5 階

一般社団法人 日本ノーリフト協会

代表理事 保田 淳子

日本ノーリフト協会は、これまでに病院や施設での福祉機器を有効に活用した環境労働マネジメントの推進と、ケアの質の向上を目的に全国でのセミナーや講演会を行ってきました。しかし、医療・介護の労働や健康に関する実態の把握は不十分であり、予防対策の実施は、まだまだ遅れているのが現状です。

当協会は、2009 年に日本で初めて医療や介護職の腰痛予防対策「ノーリフト®」を紹介し、その後 2012 年に約 7000 名の腰痛関連調査を実施しました。2012 年の調査では、80%以上の看護師や介護職が「この仕事に就いてから腰痛を経験している」ことが明らかになりました。

調査結果は、The 25th Quadrennial Congress of the International Council of Nurses（国際看護師協会第 25 回大会、2013 年）にて報告させていただきました。わが国では、2013 年に厚生労働省の腰痛予防対策指針が改訂され、全国 47 都道府県で厚生労働省主催の医療と介護職対象腰痛予防対策セミナー（本協会より講師派遣）が 3 年間実施され、2016 年のニッポン一億総活躍プランに「ノーリフティングは介護ロボットに並ぶ次世代型介護方法」と紹介されました。そして、2022 年には「ノーリフティングケア」が看護師国家試験基準問題となっております。

このように、医療や介護職の腰痛予防対策は少しずつ動いてきています。そこで当協会は、医療・介護現場における腰痛の実態、及び腰痛予防対策の現状を明らかにすることを目的に、大規模調査を実施することにしました。

「医療・介護に伴う労働負担の軽減を図ることが、ケアの質や働く環境の改善につながる」という視点に立ち、各組織への報告や連携を図り、医療・介護における腰痛予防対策をより推進していきたいと考えております。

なお、本調査は、施設関係者様の費用負担は一切ございません。また、調査項目は、個人の特定ができない項目となっており、個人情報保護の観点から無記名自記式調査とさせていただきます。

ご興味のある方は、お気軽にお問い合わせください。

公式ホームページはこちら



お問合せはこちら | (一社)日本ノーリフト協会事務局

メール：noliftcare@gmail.com 電話：078-862-8503

■ 平日 10:00～17:00 以外の時間帯でのお問い合わせの場合は、メールにてご連絡下さい。

